

## 木材価格市況標準相場

令和7年1月8日

東京木材問屋協同組合  
価格市況調査委員会

## ○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	16
吉野材	5
木曽桧	1
米材(役物製品)	5
米材(製品)	2
合板	3

## ○今月の市況動向

12月の荷動きは、全体的に低調との報告が多かったが、11月までと異なり、荷動きの回復が見られるとの報告もあった。ウッドショック以降最多の16品目が値上がりとなったが、主要な原因は仕入側にある。

(国産材) 5品目が値上げとなった吉野材では、原木不足の影響で、今年在庫確保に苦労しそうとの報告。構造材では原木価格は強くなっているが、需要が伴わない為に価格は据え置きとなった。注文材は先月同様で荷動きは好調。

(輸入材) 全品値を上げた米材役物製品においても、原因は丸太価格の上昇。特に中国勢を中心に楽器関係では、スプールの良材丸太に対して想像以上の高値を付けるとの報告もあった。SPFを含めた米材製品では、トランプ次期大統領の就任に伴い、追加関税問題・金利動向・アメリカ住宅着工の動向などに大きく左右されることになる。

(合板) 国内針葉樹合板では、配送の問題で納期がかかるようになり、中旬には新規受注を受け付けない状態となった。結果的に底値感が出たことと、メーカーが1月以降値上げを唱えた事により、徐々に値戻しが進むと予想される。